

『成都』はパンダと四川料理で魅了する



成都市の中心地。
ルイ・ヴィトンも入居
する高層ビル群は人民
南路付近

海外旅行がちよっぴり楽しくなる。現地に溶け込んだANA海外駐在スタッフならではの旅のお薦め情報を株主の皆様にご紹介するコーナーです。
今回は6月19日に成田から就航した成都(中国)からのレポートです。

成都は「今後10年間で最も成長する都市」

海から遙か離れた内陸の都市、成都。そして何より驚かされるのは、人口が1千万人を超え、急速に経済発展する勢いと、成都っ子の旺盛な購買意欲です。成都には、三国志に代表される悠久の歴史を誇る街、あるいはのんびりした風情の街というイメージもありますが、実は、成都の2010年の実質GDP伸び率は15%で、成長著しい中国でもトップクラス。また同年10月には米国のフォーブス誌が発表した「今後10年間で最も成長する都市ランキング」で世界第1位に選ばれるなど、成都の成長性には目を見張るものがあります。

お金は「貯金」よりも「使い切る」？

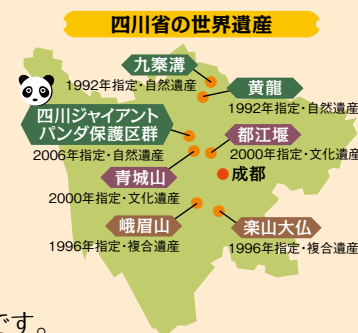
経済発展に伴う顕著な物価上昇にあっても、お金があれば「貯金」というよりは「使い切る」といった方がふさわしいライフスタイルが非常に印象的です。例えば、成都に進出している日系の大手スーパーでは、店舗当たりの売り上げが日本の店舗を遥かに上回っているそうです。実際に買い物に行くと、レジでは日本では考えられないほどの長蛇の列。特に週末は家族連れでまとめ買いをする光景が見られ、バーゲンセールとなれば、まるでドラマを観ているような人混みでごった返しています。



お薦めは身近にパンダと会える成都パンダ繁育研究基地

成都のある四川省には世界遺産が多くあり、観光スポットは枚挙にいとまがありません。その中でも一押しの観光スポットは、市内から約30分と近く、気軽に行ける「成都パンダ繁育研究基地」です。

生まれた時はわずか160g、1年後に25kg、2年後には60kgに成長するパンダ(中国語では大熊猫)を、幼少期、青年期、成年期に分けて、限りなく自然に近い環境下で飼育しています。天敵を避ける本能から、驚くほど柔軟な関節を駆使して高い木に登って、やる気なさそうに居眠りする姿や、幼少期のパンダがじゃれ合う姿は、まさに癒しの世界。日本生まれのパンダ幸浜ちゃんも元気に暮らしています。おまけにレッサーパンダ(小熊猫)にも会えます。敷地面積が約100ヘクタールと広大で、白鳥湖と呼ばれる池もあり、野生の動物たちに間近で出会える、うれしいサプライズもあり、マイナスイオン効果も十分期待できますよ！



笹食いパンダ



子パンダのお世話をする
パンダ大使の梶原裕美子さん



レッサーパンダ



「スターバックス」の
コーヒーカップ



カンフーパンダもパンダ基地に登場

成都小吃甲天下(成都の小吃は天下第一)

美食の街とも称される成都で楽しむ四川料理の特徴は、「麻(痺れる)」「辣(辛い)」。日本人にもお馴染みで人気の高い四川料理ですが、辛くない四川小吃(気軽に楽しめる一品)も名物です。種類がとても豊富で、焼売、饅頭、坦坦面やお餅類、また日本人の口にも合うスイーツまでそろっています。

今回お薦めしたいお店の一つが「順興老茶館」です。こちらでは古い街並みの雰囲気の中で小吃料理を楽しんだ後、「川劇」といわれる四川省の伝統芸能をハイライトで鑑賞できます。古典という古い印象を与えそうですが、曲芸やコメディもあれば変臉と呼ばれる演目もあり、一瞬にして顔の仮面の模様が変わるその技巧は、観る人すべてを圧倒するほどインパクトがあり、最後まで楽しめること請け合いです。成都を楽しむ観光・グルメスポットは、まだまだたくさんありますよ。



順興老茶館の小吃

成都の生活は、とても快適です

中国赴任が3回目になる私自身も、最初は期待と一抹の不安がありましたが、成都では、外国文化を吸収し、外国人を受け入れる土壌や包容力を肌で感じ、生活はとても快適です。有名な四川料理も、寒さが厳しい冬と盆地特有の湿度が極端に高い夏の気候から麻辣(マールー)風味が自然に生まれたのだと体感しており、辛さにはすっかり慣れてしまいました(笑)。困ることといえば、交通渋滞とラッシュ時になるとタクシーが全くつかまらないこと。それでも、以前より随分解消されたそうですが…。

日本からは中国沿岸都市で国内線に乗り継いで8~9時間かかった成都へも、今や5時間前後で行けるようになりました。遠い成都のイメージは過去のもので。ご旅行でも、ビジネスでも、より身近になった成都へのお越しをお待ちしております。



ANA成都支店
総務マネジャー
岩田 裕之

運航ダイヤ

	成田	成都
NH947	17:35	→ 22:20
NH948	15:00	← 09:05

※毎日運航 ※成都発NH948便は、木・土曜日は08:55発→成田14:50着
※使用機材：ボーイング737-700型機 ※ダイヤは2011年8月5日現在
※スケジュールおよび機材については予告なしに変更となる場合もあります。